別紙

# 令和 10 年度入学者選抜概要（令和 8 年 10 月現在）

## Ⅰ　一般選抜（前期・後期日程）

1　募集人員

| 学　　部　　名 | 前期日程 | 後期日程 |
|---|---|---|
| システム情報科学部 | 120 人 | 18 人 |

2　一般選抜の教科・科目・配点

（1）前期日程

**大学入学共通テスト**

| 教　科 | | 科　目 | 配点 |
|---|---|---|---|
| 国　語 | 左記から少なくとも3教科を選択（※1） | 『国語』（「近代以降の文章」のみ） | 300（※3） |
| 数学① | | 『数学Ⅰ，数学A』 | |
| 数学② | | 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 | |
| 理　科 | | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』 のうち1科目（※2） | |
| 情　報 | | 『情報Ⅰ』 | |
| 外国語 | | 『英語』【リーディング】【リスニング】 | |
| 小　計 | | | 300 |

**個別学力検査**

| 教　科 | 科　目 | | 配点 |
|---|---|---|---|
| 数学 | 必須問題 | 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C | 150 |
| | 選択問題 | 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C | |
| | | 数学Ⅲ，数学C | |
| 小　計 | | | 150 |

| 合　計 | 450 |
|---|---|

※1）大学入学共通テストでの受験必須教科および科目はありません。「国語」・「数学①」・「数学②」・「理科」・「情報」・「外国語」の6教科のうち，必ず3教科以上を受験してください。

※2）「理科」を2科目受験した場合は，より得点の高い1科目を「理科」の得点とします。

※3）4教科以上受験した場合は，各教科の得点をそれぞれ 100 点に換算し，高得点の上位3教科の得点を合否判定に用いるものとします。

- 『国語』（近代以降の文章）は，当該出題にかかる配点 110 点を 100 点に換算して利用します。
- 『英語』は，リーディングを 50 点（素点 100 点×0.5），リスニングを 50 点（素点 100 点×0.5）に換算し，計 100 点として利用します。

（2）後期日程

| 大学入学共通テスト | | | |
|---|---|---|---|
| 教　科 | | 科　目 | 配点 |
| 国　語 | 必須 | 『国語』<br>（「近代以降の文章」のみ） | 100 |
| 数学① | | 『数学Ⅰ，数学A』 | 100 |
| 数学② | | 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 | 100 |
| 理　科 | 右記から少なくとも1科目を選択 | 『物理基礎／化学基礎／<br>生物基礎／地学基礎』<br>『物理』『化学』『生物』<br>『地学』 のうち1科目 | 100<br>（※4） |
| 情　報 | | 『情報Ⅰ』 | |
| 外国語 | 必須 | 『英語』<br>【リーディング】<br>【リスニング】 | 100 |
| 計 | | | 500 |

| 個別学力検査 |
|---|
| ※課さない |

| 合　計 | 500 |
|---|---|

※4）「理科」および「情報」については，両方の教科を受験した場合は，高得点の教科の得点を合否判定に用いるものとします。「理科」を2科目受験した場合は，より得点の高い1科目を「理科」の得点とします。

## Ⅱ　未来創造選抜（総合型選抜）

＜未来創造選抜とは＞

解がひとつに定まらない，あるいは明快な解のない複雑な問題に満ちている現代社会において，実社会に根ざした問題群を自ら見いだし，解決していく方法を探究する力を持った人材が求められています。そのためには，知識・技能、思考力・判断力・表現力とともに，自律的に学び続ける力が必要です。また，共創のための情報表現能力，主体性・論理性をもって答えを生み出す力も重要な素養です。このような観点から，未来創造選抜では，課題解決に取り組む意欲や創造的な探究に挑戦したいという意志を有する学生を募集します。面接では，本学での学びにつながる研究・開発・創作の実践や社会的な活動の実績についてプレゼンテーションをしていただきます。

1　募集人員

| 学　部　名 | 募集人員 |
|---|---|
| システム情報科学部 | 35 人 |

２　未来創造選抜の試験内容等・配点

**「基礎学力検査」**および**「面接」**によって選考します。

| 日程 | 試　験　内　容　等 | | |
|---|---|---|---|
| １日目 | 基礎学力検査 | 総合問題（100 点） | 理数系の基礎的な能力を評価するため，以下の出題を行います。<br>１．数学およびデータに関する基礎的な問題（50点）(※５)<br>２．情報に関する基礎的な問題（50点） |
| ２日目 | 面　接 | プレゼンテーション対話面接（100 点）(※7) | プレゼンテーションでは，本選抜の趣旨に合致する，自己推薦の根拠となる具体的な活動実績などについて，資料を用いながら説明を行います。(※６)<br>このプレゼンテーションと出願書類に基づき，対話面接を行います。 |

※５）数学に関する基礎的な問題

微分・積分の問題を出題します。

主として数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学 A，数学 B および数学 C（「平面上の曲線と複素数平面」は除く。）の範囲から，基礎的な微分・積分の知識を問います。

データに関する基礎的な問題

出題範囲は数学Ⅰ「データの分析」および数学 B「統計的な推測」とします。

※６）「本選抜の趣旨に合致する，自己推薦の根拠となる具体的な活動実績」の例を以下のとおり示します。なお，あくまで例示であり，必ずしもこれらに該当しなければならないというものではありません。

○理数系
- ・探究的な学習の場において主体的に取り組み，優れた学修成果を収めた。
- ・部活動やサークル活動など，課外の活動に意欲的に参加して優れた成績を収めた。
- ・理数系科目や数学検定・統計検定などで優れた成績を収めた。

○外国語
- ・外国語の外部検定試験などで優れた成績を収めた。
- ・高い外国語運用能力を活かした活動実績を有する。

○情報科学
- ・情報処理技術者やＩＴパスポートなどの資格を取得した。
- ・情報技術検定や情報処理検定に合格した。
- ・プログラミングコンテストやハッカソンなどで優れた成績を収めた。
- ・アプリケーション開発やシステム運用などを行った。
- ・この分野の高い水準の知識や技術を有する。

○デザイン
- ・コンテストやコンペなどで優れた成績を収めた。
- ・優れた表現，作品，プロダクト，活動実践などがある。

○社会経験等
- ・ＮＰＯ，ＮＧＯ，ボランティア団体などでの社会的な活動実践がある。
- ・システム情報科学の学びに結びつく優れた課外活動実績を有する。
- ・社会人としての実務経験があり，その分野における豊富な知識や高い技術を有する。

※７）プレゼンテーションでは，創作・開発・試作の成果物・実機等の持ち込みを認めます。

- ・　成果物・実機等を持ち込む場合，その実演のために面接室内でインターネットに接続することを認めます。持ち込みを希望する場合およびインターネットの接続を希望する場合は，その旨を出願書類に予め記載することを求めます。
- ・　本学が許可した成果物・実機等以外のものの持ち込み，使用・実演は認められません。
- ・　試験会場内におけるインターネット接続は，本学が指定する場所と時間に限るものとします。
- ・　プレゼンテーションの時間はこれまでと同様に５分以内とし，成果物・実機等の実演時間もこの時間に含むものとします。

## Ⅲ　学校推薦型選抜

1　募集人員および出願資格

| 区分 | はこだて枠 | 地域枠<br>（北海道・青森県） | 全国枠 |
|---|---|---|---|
| 募集人員 | 12 人 | 40 人 | 15 人 |
| 出願資格 | 函館市・北斗市・七飯町に所在する高等学校等を令和９年度中に卒業した者および令和 10 年度中に卒業または卒業見込みの者で，以下の(1)～(4)のいずれにも該当する者 | はこだて枠の対象者を除く，「北海道」または「青森県」内の高等学校もしくは中等教育学校等を令和９年度中に卒業した者および令和 10 年度中に卒業または卒業見込みの者で，以下の(1)～(4)のいずれにも該当する者 | 高等学校もしくは中等教育学校等を令和９年度中に卒業した者および令和 10 年度中に卒業または卒業見込みの者で，以下の(1)～(4)のいずれにも該当する者 |
| | (1) 調査書において，以下のいずれかを満たす者，あるいはそれらと同等の学力を有する者であることが望ましい。<br>① 全体の評定平均値が 3.7 以上<br>② 数学，英語，理科，情報のうちいずれか１教科の評定平均値が 3.7 以上<br>③ 数学Ⅲを履修していること<br>(2) 多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲のある者<br>(3) 本学で修学するための能力，適性について在学高等学校長が責任をもって推薦できる者<br>(4) 合格した場合には，必ず入学することを確約できる者 | | |

2　学校推薦型選抜の試験内容等・配点

**「基礎学力検査」**，**「小論文」**および**「面接」**によって選考します。

| 日程 | 試　験　内　容　等 | | |
|---|---|---|---|
| １日目 | 基礎学力検査 | 総合問題<br>（150 点） | 理数系の基礎的な能力を評価するため，以下の出題を行います。<br>１．基礎的な数学能力を問う問題（100 点）<br>２．データに関する基礎的な問題（50 点） |
| | 小論文 | 小論文<br>（50 点） | 言語理解・言語表現の基礎的な能力，および思考力・判断力・表現力を多角的に評価します。(※8)<br>記述問題では，本文の内容を正しく理解したうえで，それをふまえた自分の考えとその理由を，200 字程度で論理的に述べる問題などを出題します。 |
| ２日目 | 面　接 | 面接<br>（50 点）<br>(※9) | 思考力・判断力・表現力・主体性，および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。面接時には，志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。 |

※8　小論文の出題例は，サンプル問題をご確認ください。

※9　本面接では，受験者に対して３～５問の質問を行い，それぞれの質問に対して１分程度で答えていただきます。簡潔でわかりやすい言葉で表現してください。